入選

家族と共に生きる

第三学年　小川天翔

ぼくは、共生とは、家族といっしょに生活をする、先生や友達とべんきょうしたり、遊んだりすることだと思いました。

そう考えた理由は、まず、家族は血のつながりがあり、共に助け合っていくこともあり、その家族とは、一つしかない家族だと思ったからです。

友だちと共に生きると思った理由は、共に勉強して、助け合っていく友だちだから、共に生って、そういう意味なのかなと思ったから、です。

二つ目に、命があるということです。どうして命があるかというと、命があるから生きているから、命は一人に一つしかないから、そう思いました。そう思った理由は、命がないと生きられないと生きられなかったら、友達にも家族にも会えないし、楽しいこともできないし、だから共生っ

20 × 20

て、命があることなのかな、と思ったからです。

命はとても大切で、一人に一つしかなくて大事で、なかったら生きられないし、好きな人にもあえないし、だから、共生は、人といっしょに力を合わせて、助け合って、楽しく、分かりあっていくそんざいっていうことが、共生って考えました。

命がなかったら生きられないから、命があるということは、共生だと思いました。

20 × 20